

指定管理者モニタリングシート（令和7年度分）

■評価項目評価基準

評価	評価基準
A（良好）	協定書等の基準を遵守し，その水準に沿う内容である
B（課題あり）	協定書等の基準を遵守しているが，一部に課題がある
C（要改善）	協定書等の基準が満たされておらず，改善が必要である

1 業務の履行状況の確認

① 事業及び業務の履行状況

評価項目	指定管理者	
	自己評価	特記事項
１．協定書等で定める開館日，開館時間が遵守されているか	A	
２．利用申請・許可，利用料金等の徴収，減免の取扱いは適正か	A	
３．施設の利用状況（利用者数，利用率等）は適切な水準か	A	
４．協定書等で定めた職員配置となっているか	A	
５．配置されている職員は必要な資格を有しているか	A	
６．適正な雇用・労働条件が確保されているか	A	
７．緊急時の体制整備がされ，職員に周知徹底されているか	A	
８．緊急連絡網や危機管理マニュアルは，最新の状態に保たれているか	A	
９．避難誘導訓練等は実施されているか	A	
10．苦情対応に関する体制が整備され，職員に周知徹底されているか	A	
11．個人情報は適切に管理されているか	A	
12．市への報告や各種報告書の提出が適切な時期になされているか	B	
【今後の取組み・課題】		
・ 支援員が 9 割を占め、安定した体制だった。 ・ 今年度も利用人数が多かったが、安全に気を付け、環境や生活の仕方を工夫した。 ・ 保護者との関係性構築のため、お迎えに来る保護者とは対話を大切にした。 ・ 提出物が期日ギリギリになってしまうことが多いため、余裕を持った作業を心掛ける。		

② 独自事業の実施状況

評価項目	指定管理者	
	自己評価	特記事項
1. 事業計画書で予定した独自事業は実施されているか	A	
2. 独自事業の実施にあたり必要に応じて保険に加入しているか	A	
3. 独自事業の実施にあたり広報等を行い，利用者の拡大を図っているか	A	
【改善点・今後の取組み】		
・子ども主体の事業実施を常に心がけた。かまくらっ子の理念を念頭に置き、子どもたちが活き活き・のびのびと過ごせるような環境設定の工夫も行った。 ・すべての子どもの「やりたい」を実現できるように支援員は創意工夫を行えた。やりたいことや、口頭では言いにくいことを記入して入れる「要望 BOX」を作り、子どもの声を大切にした。		

2 サービスの質に関する評価

① 基本的事項

評価項目	指定管理者	
	自己評価	特記事項
1. 利用者に対する言葉遣いや態度等の接遇が適切であるか	A	
2. 広報物が見やすく作成され、効果的な情報提供を行っているか	A	
3. 職員の資質向上のための研修等を実施しているか	B	
【改善点・今後の取組み】		
・月1度、職員会議を実施。それ以外でも、職員同士がしっかりコミュニケーションを取り、子どもたちの些細な変化など瞬時に気づき適切な対応が取れるように心掛けた。 ・市との連携、様々な会議に参加し、質の向上に常に努めた。 ・職員の資質向上のための研修では「いじめ」に関する内容の研修を年度内で実施できなかった。 次年度は実施をし、全ての子どもが安心安全に生活できるよう、支援者としての意識を高めたい。		

② 維持管理業務

評価項目	指定管理者	
	自己評価	特記事項
1. 施設は清潔に保たれ、整理整頓がされているか	A	
2. 事故の未然防止のため、定期的に設備や備品の確認を行っているか	A	
3. 文書管理に関する規定を定め、文書が適切に管理・保管されているか	A	
【改善点・今後の取組み】		
・安全計画を新たに作成し、職員、保護者の方に共有した。計画は必要に応じて都度見直し、安全管理に徹底していく。		

③ 運営業務

評価項目	指定管理者	
	自己評価	特記事項
１．平等な利用を確保し、公平な運営を行っているか	A	
２．独自事業の実施にあたり、事前調整や広報など円滑な実施に努めているか	A	
３．利用者満足度を向上させるための方策を講じているか	A	
４．利用者アンケートの結果を業務改善に反映させているか	A	
５．自己評価を実施し、管理運営の見直しや業務の改善を行っているか	A	
６．クレームに対して適切に対応し、以降の運営に活かされているか	A	
７．利用者同士の交流、気軽に子育ての相談ができる環境作りを行っているか	A	
８．施設を子育てネットワークの拠点として活用しているか	A	
【改善点・今後の取組み】		
・保護者の方にも開けた施設となるように、保護者の方には積極的に施設の中に入って様子を見ていただくようにした。 対話も大切にし、些細なことでもお子さまの様子を伝えることを大切にした。 ・今年度のアンケート結果を元に、より良い運営に取り組んでいきたい。いただいたご意見は真摯に受け止め、 しっかり改善させていく。		

3 総合評価

本年度も前年度に引き続き多くの児童にご利用いただき、特に高学年の利用率が高い水準を維持しました。運営面においては、子どもたちの自主性や主体性を尊重し、学校での緊張感を解きほぐしてのんびりゆったりと過ごせる環境づくりに注力いたしました。また、保護者の皆様との対話を大切にしながら日々の信頼関係構築に努めてまいりました。一方で、年度内にいじめ問題が発生し、保護者の皆様にご心配をおかけする事態が生じました。この課題に対し、現在は職員研修を実施するなど組織全体での対応力を強化しております。今後はすべての児童がより一層安心・安全に過ごせるよう、全職員が一丸となって目配り・気配りを徹底し、信頼回復と健全な施設運営に努めてまいります。
--